

神を中心とする

礼拝シリーズ3

ホープチャペル所沢

「『私たちの神の箱を私たちのもとに持ち帰ろう。私たちは、サウルの時代には、これを顧みなかったから。』すると全会衆は、そうしようと言った。このことが、すべての民の目には良いことに思えたからである。」(I 歴代誌13:3-4、新改訳2017)

序

イエス様は、神を中心とする生き方を私たちに教えられました。今日は第一歴代誌13-17章を通し、それはどのような生き方なのか考えてみましょう。

1. 神の箱を担ぐ (I 歴代誌13:1-15:29)

ア) 人の方法 (13:1-14)

イ) 神の方法 (15:1-29)

2. 神にささげ物をする (I 歴代誌16:1-43)

ア) 献身と平和の心 (16:1-3, 39-40)

イ) 賛美と感謝の心 (16:4-38)

3. 神のみことばに従う (I 歴代誌17:1-27)

ア) 導き (17:1-6)

イ) 約束 (17:7-15)

私たちの祈りと学び、話し合いと実践のために

1. イエス様は今、どこにおられますか？
2. あなたは、神様にどんな心をささげていますか？
3. 神様は今、あなたにどんな導きを与えておられますか？

20180304hct.j